

◎基本情報

事務事業名	生涯スポーツ推進事業		担当部署	市民環境部 スポーツ課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市体育振興事業補助金交付要綱	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成 ▼ 27 年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なんと			終期
(小項目)		スポーツ・レクリエーション			
施策	3	生涯スポーツの振興			
基本事業	2	スポーツ活動の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民等						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	スポーツ推進計画を実行するため、各世代の市民が年齢、性別、障がいの有無等にかかわらず、幸福で豊かな生活を営むことができるように、生涯にわたってスポーツ活動に取り組むことができる環境の整備を進める。						
事業計画	29年度に何を計画していたか	市民のスポーツニーズに対応した多種目のスポーツを提供し、日頃、スポーツに接する機会の少ない子どもから高齢者までのスポーツ活動機会の充実を図る。また、日頃から体を動かすことを意識し、運動の習慣づけを行い、新たにスポーツ推進にチャレンジする団体を支援することを目的に、地域スポーツの担い手である総合型地域スポーツクラブや体育協会加盟団体及び生涯スポーツ推進に意欲のある団体から、事業の企画提案を募集する。応募のあった団体から、事業の実施団体の選定を行い、選定された団体によって市内各地で多世代を対象とした事業を実施する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位
		生涯スポーツ推進事業イベントへの参加者数	960	960	960	960	960	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	29年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	前年度の2月より、生涯スポーツ推進事業実施の意思がある団体からの企画提案を募集した。 団体より企画提案のあった事業の比較検討をしながら、補助の対象となる団体を選定委員会において決定した。4月より1年間で原則12回程度はイベントを実施することとし、各団体により市内各地でイベントが実施された。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	生涯スポーツ推進事業実施団体数	4	3	4	4	4	団体
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		生涯スポーツ推進事業イベントへの参加者数	1,081	640	—	—	—	人
		目標達成率(実績/目標)		66.7	—	—	—	%
今年度の進捗状況	未達成		事業全体の進捗状況			ほぼ計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成29年度	当初予算額	0	0	0	0	600	600
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	600	600
		決算額	0	0	0	0	450	450
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,234千円/人)	臨時職員(2,492千円/人)		総人件費		総事業費
		0.3	0.0		2,170		2,620	

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費	600	450	600	600	600
	うち一般財源	600	450	600	600	600
	人件費	2,140	2,170	2,170	2,170	2,170
	総事業費	2,740	2,620	2,770	2,770	2,770

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		各実施団体により、子どもから高齢者まで参加できるイベントの提案があり、参加者もある程度いた。
	効率性	A:効率的だった		市からの補助以外にも、参加者から参加料を徴収するなど、事業の採算が取れるよう考慮されている。
②成果に対する評価	指標名	生涯スポーツ推進事業イベントへの参加者数		事業実施団体が目標としていた団体数に達しなかったため、イベントの参加者数も減少した。
	目標	960	人	
	実績	640	人	
	評価	C:あまり目標を達成できなかった		
③総合的な評価		B		事業実施団体が様々なイベントを考え、子どもから高齢者まで多くの市民が運動を始めるきっかけとなったが、目標値に達しなかったため、B評価とした。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	応募団体が固定化されてきており、市民がよりスポーツ活動に触れる機会を創出するため、新規団体等から様々な企画提案がなされるよう、本事業への募集を促すための周知方法や運用等を再検討する必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H30年度	平成27年度の導入より4年目となるため、次年度以降の事業の見直しも視野に入れつつ、実施していく。			
	H31年度	今年度の実施状況により、次年度以降検討する。			